

公益財団法人 8020 推進財団

令和 2 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1.事業名：東久留米市歯科医師会歯科保健普及啓発事業

(親と子の歯っぴーライフ・歯と歯ぐきの市民健康フェスタ)

2.申請者名：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 会長 北村 晃

3.実施組織：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 公益社団法人東京都歯科衛生士会 東久留米市役所

4.事業の概要：子供の頃からの歯磨きを含めた良い生活習慣が健康な心と体を育みます。3 歳以降の就学前の幼児と保護者を対象に歯みがきを通じて歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ります。食事・生活習慣を見直すことをテーマに、親と子の歯っぴーライフを開催しました。また、1994 年の WHO のテーマが口腔保健であったことから、市民の期待に的確に答える事のできる歯科医療、保健、福祉の一層の充実をはかるために、歯と歯ぐきの市民健康フェスタを毎年開催しています。歯の健康寿命の延長に期待し、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に対して広く啓発することを目的とします。2 つの行事とも、新型コロナウイルス感染予防に十分留意しながらの開催となりました。

5.事業の内容

①親と子の歯っぴーライフ “集まれ 歯みがキッズ！！” 当初予定の 6 月開催を 10 月に延期して開催。

2020 年 10 月 24 日（土）午前 10 時から 12 時 会場 東久留米市わくわく健康プラザ 1 階講堂

第 1 部 パネルシアター「ムッシーをやっつけろ」歯科医師・歯科衛生士による劇を通して、歯ブラシの大切さ、生活のリズムを整える大切さを伝えた。スタッフはフェイスシールドを着用して新型コロナウイルス対策を十分に施して行った。食べることに関する良い習慣・悪い習慣に気づいてもらう。

第 2 部 ひがしくんと大きい歯ブラシでブラッシングのポイントの説明。歯科衛生士・歯科医師による家族単位での個別指導を行った。顎模型を用意して口の中の様子の実際を身近に感じてもらった。飛沫に注意しながら、実際の幼児の口腔をチェック。正しくみがけているかを観察。仕上げ磨きのポイントを解説。希望者にはフッ素入り歯磨剤を使用した。

②第 27 回歯と歯ぐきの市民健康フェスタ 2020 年 11 月 7 日（土）午後 2 時から 4 時 会場 東久留米市 市民プラザホール

本年度は、東京医科歯科大学歯学部長 顎顔面外科学分野教授 依田哲也先生に講演して頂きました。

演題：「唾液のはなし」ドライマウスから歯を守る

唾液腺細胞には新型コロナウイルスと結合しやすい受容体というのがあるため、ここからウイルスが体内に侵入する可能性があります。一方で、唾液にはウイルスや細菌の繁殖を抑える作用があることも知られています。今回の講演では、唾液の不思議な魅力に触れ、ドライマウスの対応などについてお話しして頂きました。

6.実施後の評価（今後の課題）：

親と子の歯っぴーライフは、毎年最新のトピックスを盛り込みながら、いかに子供のころからの歯磨きの習慣が大切かを伝えつつ、良い生活習慣を身につけることが重要かを継続的に伝えていく。アンケートをとり次年度の事業へのフィードバックとする。

歯と歯ぐきの市民健康フェスタでは、毎年、東久留米市役所との協力のもと、市民の皆様のニーズに合った、歯科に関する情報提供を積極的に行う。